

投稿する人のために

ひがし大雪自然館研究報告は、大雪山国立公園およびその周辺の自然史に関する論文、短報、総説、資料、雑録等を掲載します（種別の区分はありません）。投稿希望者はひがし大雪自然館へご連絡ください。

本誌に掲載された論文・図表等の著作権はひがし大雪自然館に帰属します。

- ・原稿は随時受け付け（原則 1 月末日締め切り）、年 1 回、3 月末に発行します。原稿は受付順に掲載しますので、予定ページを超過した場合、掲載を次号へ延期させていただく場合があります。
- ・ひがし大雪自然館研究報告は A4 モノクロ印刷ですが、1 原稿につき 1 ページカラーにすることができます。
- ・本文は Word 等で作成し、以下のものを付けてください。
 - ・タイトル（和文と英文）
 - ・著者名（和文と英文）
 - ・所属及び住所（和文と英文）
 - ・アブストラクト（英文）
 - ・本文（和文もしくは英文）
 - ・図表キャプション（和文と英文、もしくはどちらか）
- ・図表及び写真は、PDF もしくは JPEG 形式で受け付けています（難しい場合はご相談ください）。図表及び写真の仕上がりサイズは、1 段幅で最大 8cm、2 段幅で最大 16.6cm となりますので、図表作成の参考にしてください。
- ・本文の句読点、引用方法、引用文献等のスタイルは、過去のひがし大雪自然館研究報告を参考にしてください。
- ・掲載された著者には研究報告 1 部、PDF を差し上げます。ご希望の場合は別刷を 50 部まで無料で差し上げます。それ以上の部数は著者負担となります。
- ・発刊後 1 年経過した論文は、ひがし大雪自然館ホームページで電子公開いたします。
- ・原稿（本文、図表写真）はひがし大雪自然館 info@ht-shizenkan.com に送付してください。

■引用文献の書き方（文献は引用したものに限る）

「,」「.」「()」などの記号はすべて半角を使用し，スペースも半角を用いる。

① 和文論文 [著者名, 発行年. 論文名. 雑誌名, **巻数(ボールド)**: ページ.]

例) 乙幡康之・古戸正行・古戸幸子, 2019. 十勝の黒曜石マップ 2019. ひがし大雪自然館研究報告, **6**: 27–32.

② 和文単行本 [著者名, 発行年. 単行本名. 出版社名.]

例) 国立天文台(編), 2000. 理科年表平成 13 年版. 丸善.
書籍の一部の場合

例) 小疇 尚, 1994. 氷期のたまもの十勝平野と日高山脈. 小疇 尚・福田正巳・石城謙吉・酒井 昭・佐久間敏雄・菊池勝弘(編), 「日本の自然地域編 1 北海道」. 岩波出版, 114–125.

③ 欧文論文 [著者名, 発行年. 論文名. 雑誌名 (イタリック) , **巻数(ボールド)**: ページ.]

※雑誌名は略称が存在する場合略称を用いる

例) Constable, C.G. and Johnson, C.L., 1999. Anisotropic paleosecular variation models: Implications for geomagnetic field observables. *Phys. Earth Planet. Inter.* **115**: 35–51.

④ 英文単行本 [著者名, 発行年. 単行本名 (イタリック) , 出版社名.]

例) Canup, R.M. and Righter, K., 2000. *Origin of the Earth and Moon*. University of Arizona Press.

書籍の一部の場合

例) Abe, Y., Ohtani, E., Okuchi, T., Righter, K. and Drake, M., 2000. Water in the early Earth. In: Canup, R.M. and Righter, K. (Eds.), *Origin of the Earth and Moon*. University of Arizona Press, 413–433.